



しまがはらだより

編集・発行 島ヶ原地域まちづくり協議会広報部会

◆第18回 島ヶ原敬老福祉大会開催

健康福祉部会

9月15日（月・祝）敬老の日に敬老福祉大会を開催し約100人の参加がありました。第一部の式典では、保育所の子どもの遊戯やメッセージ、市長のメッセージ、川崎衆議院議員、市川県議会議員の祝辞により高齢のみなさまへの感謝と敬意が伝えられました。最年長者による乾杯の音頭で昼食をとり、第二部では会員の表彰など老人クラブの親睦の時間となりました。



◆第54回 島ヶ原文化作品まつり

島ヶ原文化作品まつり実行委員会

毎年好評の島ヶ原文化作品まつりが次のとおり開催されます。島ヶ原在住、在勤、在学の人々が制作した絵画、書道、俳句、写真、陶芸、手芸等が多数展示されます。ぜひ芸術文化の秋をお楽しみください。



【開催期間】 11月2日（日）～4日（火）

9：30～17：00（入場受付は16:30まで）

※4日（最終日）は搬出のため13:00まで（入場12:30まで）

【会場】 島ヶ原会館ふれあいホール、中会議室

◆第2回 灯りと光のつどい開催

灯りと光のつどい実行委員会

第2回灯りと光のつどいを9月23日（火・祝）島ヶ原温泉やぶっちゃんにおいて開催しました。当日は、竹灯りや行灯、ステージや広場での楽しいダンスや音楽、キッチンカーや各種団体による出店、ゲームコーナー、お楽しみ抽選会など、ご参加いただいたみなさんの楽しそうな声が終始秋の風と共に響いていました。夕暮れとともに伊賀市副市長、南山城村副村長、地元三重県議会議員のあいさつの後に点灯式が行われ、辺りが暗くなるにしたがって約1200個の竹灯りは優しい光を放っていました。また、南山城村の可愛らしいイルミネーションオブジェは生き生きと浮かび上がり記念撮影をする家族連れに大人気でした。

つどいの最後に 100 基のスカイランタンが浮かびあがると、島ケ原の秋の夜空が幻想的な雰囲気となり癒しの時間となりました。企画、運営にあたっていただきました「灯りと光のつどい実行委員会」の皆さまありがとうございました。



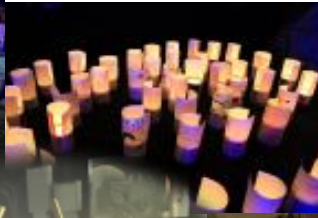
点灯式

交流ステージ



スカイランタン

南山城イルミネーション



灯りライブ

竹灯りのテーマは渦

伊賀城和定住自立圏じょうわていじゅうじりっけん（伊賀・山城南・東大和定住自立圏の略称）

伊賀市は国の財政支援を受け、隣接する南山城村（京都府）、笠置町（京都府）、山添村（奈良県）と連携し伊賀城和定住自立圏を形成しています。一定の都市機能がある中心市と近隣市町村が医療や経済面など相互に役割分担し自立圏全体で住民の生活に必要な機能の確保を進めるといふ施策が伊賀城和定住自立圏です。

こうした背景もあり、島ヶ原地域では「灯りと光のつどい」で教育や文化、住民同士の連携を大切に南山城村田山地区のみなさんとの交流が以前から行われています。

また、8月にはその一環として「道の駅お茶の京都みなみやましろ村」で行われた「ヨルモナンデス（マーケットと盆踊り大会）」に地域振興部会と風おこし協議会が参加協力し、射的と輪投げゲームをおこないました。灯りと光のつどいの PR につなげようと、行灯も設置しました。この行灯の貼り替え作業は南山城地域のみなさんと一緒におこない地域間交流の輪を広げることができました。



◆情報発信のデジタル化に向けて

まち協 & 広報部会

今年度、紙の広報しまがはら以外にインターネットを通じた新たな情報発信について模索しています。まちづくり協議会のホームページでは、広報や行事等のチラシ掲載をおこなっていますが、欲しいときに欲しい情報が十分にとれるものではありません。また、紙による広報誌はタイムリーな情報提供が発行時期によって難しいことや若い世代に地域のことをもっと興味を持ってほしい、そしてよりスピーディーな情報提供、発信ができないかということから模索が始まりました。

デジタル化の一つは地域住民や各種団体からの自発的な情報発信ツールとしてのブログ「島ヶ原日和」です。まち協および広報部会は情報発信のガイドラインを設定し、その発信内容の確認等をおこなう支援者としてかわります。始まったばかりですが、右の QR コードをスマホで読み込みアクセスしてみてください。



島ヶ原日和 QR コード

<https://shimagahara.fun/>

デジタル化の二つ目は Instagram（インスタグラム）です。伊賀市内他地域の住民自治協議会でも取り入れられている情報発信ツールです。紙の広報誌ではできないタイムリーな発信をしていきたいと考えています。（こちらは準備ができ次第案内します）

デジタル化の取り組みは、島ヶ原地域内外の人たちに島ヶ原のことや良さをもっと知り感じてもらうための情報発信、提供を目的としています。

◆個別避難計画作成

まち協

伊賀市からの委託を受け、風水害を想定した高齢者や障がいのある人など自ら避難することが困難な避難行動要支援者ごとに作成する避難計画書を各区長さん、民生委員の皆さんの協力を得て11月末を目途に作成中です。また、伊賀市社会福祉協議会のご協力を得て、災害時要支援者のための「支え合いマップ」の作成も各区に提案しています。これらの計画書、マップは今後実施する防災訓練に活用していく予定です。

◆島ヶ原の未来を考えるワークショップ開催

まち協

島ヶ原地域生活改善活動会議（地域福祉ネットワーク会議）活動の一環として、各区長の他 まち協役員、島ヶ原地域福祉推進委員会の代表、地区民生委員の皆さんを対象に10月14日(火)「島ヶ原地域の未来を考えるワークショップ」を開催しました。内容は、地域の現状や課題を明確にした上で、「災害」、「地域活動運営」をテーマとした地域の強み、弱み、15年後の理想の姿を実現するために私たちができることをグループ別にディスカッションするワークショップを開催しました。この内容については次回のしまがはらだよりで報告します。

◆島ヶ原地区市民センター指定管理者選定委員会開催

まち協

島ヶ原地域まちづくり協議会が指定管理者となることの選定委員会が10月1日(水)に伊賀市役所で実施され、施設管理者としての島ヶ原支所、応募団体として島ヶ原地域まちづくり協議会が出席し、まちづくり協議会が島ヶ原地区市民センターの指定管理者となることの意義などについて説明しました。10月7日現在 審査結果の通知は届いていませんが、到着後速やかに島ヶ原支所と現島ヶ原会館の改修内容、運営組織など詳細な協議を行う予定です。本件についても追ってしまがはらだよりでお知らせします。

今後の予定

10月15日(水)	島ヶ原地域交通専門部会 13:30 (島ヶ原会館)
10月15日(水)	島ヶ原温泉やぶっちゃん施設を活用した地域活性協議会 19:30 (島ヶ原会館)
10月16日(木)	第5回定期役員会 19:00 (島ヶ原会館)
10月20日(月)	青色防犯パトロール講習会 19:00 (島ヶ原会館)
10月22日(水)	地域意見交換会 19:00 (島ヶ原会館)
10月22日(水)	第5回定例運営委員会 20:00 (島ヶ原会館)
11月20日(木)	第6回定期役員会 19:00 (島ヶ原会館)
11月23日(日)	しまがはら紅葉の街道散策 10:15~ (鷺宮神社、正月堂他島ヶ原地域内)
11月26日(水)	第6回定例運営委員会 20:00 (島ヶ原会館)
11月中旬	島ヶ原地域総合防災訓練 (予定)

〒 519-1711 伊賀市島ヶ原 4739「島ヶ原会館内」

島ヶ原地域まちづくり協議会

☎ 0595-59-2584 FAX 0595-59-2574

e-mail shimakyo@ict.ne.jp

ホームページ <http://ict.easymyweb.jp/member/shimakyo>



ホームページ QRコード